

日 時 2025年9月11日（火）18時30分～20時15分
大阪大学中之島センター 8階大会議室

出席者 23名（うちオンライン参加3名）

※ 懇親会 20時20分～21時 2階カフェテリア・アゴラにて 17名参加

【協議事項】

（1）2025年度総会について（報告と振り返り）【資料①参照】

山西会長および西尾事務局長より、7月19日に開催された総会の振り返りと会計報告がなされた。当日の参加者は88名、欠席者は1名。収支については収入700,000円、支出1,060,220円、収支差額は△360,220円となったが、予算内（△371,120円）に収まった。

《振り返り》

- ・会場が大阪市内ではなく、千里中央となったので参加者数が心配されたが、例年どおりの規模で開催できてよかった。
- ・本年度で閉館となる千里阪急ホテルで開催できてよかった。
- ・西アナウンサーの講演も好評だった。来年も講師の選定が大事。
- ・懇親会での東京・名古屋支部長や懸賞論文受賞者の挨拶にもっと注目されるよう、来年はさらに工夫したい。

（2）2026年度総会について【資料②参照】

山西会長より、2026年7月18日開催予定の来年度の総会の会場候補について説明があった。協議の結果、ホテル阪神大阪（大阪市福島区）で開催することで承認を得た。

また、講演会講師については大阪大学総長の熊ノ郷淳先生にお願いすることで承認を得た。嶋谷副会長を通じて、事務局より連絡させていただくこととする。

（3）2025年度青雲懸賞論文について【資料③参照】

青雲懸賞論文担当の醍醐副会長（オンライン参加）より、2025年度青雲懸賞論文の実施案について説明がなされた。

今回は①2部門制の維持か廃止か ②絶対評価か相対評価か ③共著と単著について（審査で同等となった場合の優先順）の3点について活発な議論がなされた。

①2部門制については本年度も継続する。

②従来どおりの絶対評価による審査を再確認。「該当なし」の結果もありうる。

③共著と単著については特に優先順位はつけず従来通り扱う。

以上を踏まえ、今年度のスケジュール案と募集要項が原案どおり承認された。

なお、学生への告知時期はなるべく早い方が望ましい（夏休み前でも可）との意見が出され、引き続き検討していくこととなった。

【報告事項】

（1）70周年記念事業報告について【資料④参照】

西尾事務局長より、8月9日に開催された銘板除幕式について報告があった。

(2) 青雲キャリア支援基金について【資料⑤参照】

西尾事務局長より、青雲キャリア支援基金の2024年度の活動と決算、2025年度の活動計画と予算について報告がなされた。

山西会長より、関係副会長に本基金の運営委員会への参加要請があり、和田副会長（運営委員）、大石副会長（運営委員）、幸寺副会長（運営委員）、麻田副会長（監事）の承諾を得られた。

(3) 会費収入の推移について【資料⑥参照】

西尾事務局長より、7月31日現在の本年度の会費収入実績について報告がなされた。

(4) 青雲塾について

山西会長より第82回青雲塾の開催案について説明がなされた。

(5) 若手交流会について

西尾事務局長より、本年度の若手交流会の講師候補について説明がなされた。

今後の幹事会開催日

第4回	12月 4日（火）	18:00～（兼 忘年会）住友クラブ
第5回	2026年 2月19日（水）	18:30～ 大阪大学中之島センター

以上